



【事例紹介】EMで釣り場の金魚が病気にならない 埼玉県戸田市道満河岸金魚釣り場

埼玉県戸田市の西側を流れる荒川は源流を秩父に発し東京湾に注ぐ延長 170 km余の 1 級河川だ。戸田市は東京湾の河口から 25 キロ程上流にあるが、荒川河川敷には旧荒川の名残である月型の沼が点在する。この河川敷に戸田市水と緑の公社が管理する彩湖道満グリーンパークの一角に月型の沼・道満河岸釣り場がある。その一部南側に金魚釣り場があり、周囲は、かつてサクラソウの名所「戸田が原」が原形をとどめる自然豊かな釣り場として有名だ。

この金魚釣り場へ試験的に年数回の割で EM 活性液を投入して、金魚が死ぬのが減ったなどの効果が出ていたので、2 年前から戸田 EM ピープルネット（池上幸子理事長）が、定期的に EM 活性液と EM ダングを投入し続けている。その効果について、この金魚釣り場を担当し 20 年勤務する小山行雄さんに聞いてみた。



戸田市水と緑の公社が管理する道満河岸金魚釣り場



金魚釣り場担当の小山行雄さん

まず、金魚が病気にかからなくなった、釣り場の臭いが消えたと言う。EM の効果で誰もが言う、臭いが消えたかは説明の必要がないと思うが、病気がなくなった成果は 2 つ。

釣り針が金魚の口を傷つけ、傷口から発症する白い綿のような物が付き死んでしまう病気が全くなかった。金魚のエラに付くイカリムシもなくなったそうだ。これで金魚が良く釣れるようになったと、釣り人が喜んでいるのが嬉しいと言う。しかし、この釣り場周辺は自然がよく残っているので、この釣り場にもタヌキが出現し、金魚のエサが荒らされて困る。また、川にエサとなる魚が減っている時は、この釣り場にもカワウが来て、金魚を大量に食べてしまうので困っている。この夏場にはアオコが発生しているのでカワウは来ないと言う。

この釣り場は、毎月 500 l の EM 活性液と EM ダング 120 個を継続投入しており、病気にならないという素晴らしい効果も確認できているので、今後も続けていきたいと、戸田 EM ピープルネットでは話している。